

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 はごろもフーズ株式会社

コード番号 2831 URL <http://www.hagoromofoods.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 溝口 康博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部担当 (氏名) 後藤 佐恵子

TEL 054-354-5000

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	63,415	0.4	2,518	530.0	3,564	167.9	2,186	188.7
21年3月期第3四半期	63,170	—	399	—	1,330	—	757	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	106.51	—
21年3月期第3四半期	36.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	44,517	22,582	50.7	1,100.30
21年3月期	43,246	20,148	46.6	981.61

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 22,582百万円 21年3月期 20,148百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
22年3月期	—	7.50	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	12.50	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

22年3月期期末配当金の内訳 普通配当 7円50銭 記念配当 5円00銭

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,900	1.8	2,000	827.4	3,200	122.9	1,900	233.1	92.57

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 20,650,731株 21年3月期 20,650,731株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 126,727株 21年3月期 125,114株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 20,524,694株 21年3月期第3四半期 20,527,413株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループでは、個人消費が引き続き低迷する厳しい販売状況のなか、「キッチンと！」をキーワードに製品の価値を直接消費者にアピールする販売促進活動を継続的に実施し需要の喚起に努めました。また、重点製品のさらなる販売強化やブランド育成のために販売費を増加させたことで、売上高は634億15百万円（前年同期比0.4%増）となりました。一方、原価面では主原料のきはだ鮭・デュラム小麦粉の価格が前年同期を下回ったことから売上総利益率は大幅に改善しました。

以上の結果、営業利益は25億18百万円（前年同期は3億99百万円）となりました。(株)マルアイ他の株式取得にともなう負ののれん償却額3億77百万円などを営業外収益に計上し、経常利益は35億64百万円（同13億30百万円）、四半期純利益は21億86百万円（同7億57百万円）となりました。

製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、%）

製品群	期別	前年同期（累計）		当第3四半期（累計）		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	27,741,721	43.9	28,083,835	44.3	342,114	1.2
		デザート	3,891,216	6.2	4,130,730	6.5	239,514	6.2
		パスタ&ソース	6,507,575	10.3	6,504,982	10.3	△2,592	△0.0
		総菜	4,435,071	7.0	4,638,904	7.3	203,832	4.6
		花かつお・海苔・ふりかけ類	5,506,470	8.7	5,669,397	8.9	162,926	3.0
		ギフトセット・その他食品	4,145,625	6.6	4,214,833	6.6	69,208	1.7
		計	52,227,680	82.7	53,242,684	83.9	1,015,004	1.9
	業務用食品	8,278,070	13.1	7,773,079	12.3	△504,991	△6.1	
	ペットフード・バイオ他	2,074,887	3.3	1,941,325	3.1	△133,561	△6.4	
	計	62,580,638	99.1	62,957,089	99.3	376,451	0.6	
その他	不動産賃貸他	589,587	0.9	458,718	0.7	△130,868	△22.2	
合計		63,170,225	100.0	63,415,808	100.0	245,582	0.4	

（注）上記金額は消費税等を含みません。

「ツナ」では、きはだ鮭製品が「キッチンと！」キャンペーンと連動した販売促進企画の継続的な実施により好調に推移しました。また、かつお製品では、ブランドの育成強化をはかるためテレビCMを集中投下した「シーチキンPLUS」シリーズが順調な販売となりました。当製品群の売上高は前年同期比1.2%増加しました。「デザート」では、「朝からフルーツ」シリーズが引き続き好調に推移し、当製品群の売上高は同6.2%増加しました。「パスタ&ソース」では、需要期にさきがけた販売促進により「スパゲッティグラタン」が好調に推移しましたが、ソースの販売が低調となり、当製品群の売上高は前年同期とほぼ同水準となりました。「総菜」では、「シャキッとコーン」や青魚の「健康」シリーズが好調に推移し、当製品群の売上高は前年同期比4.6%増加しました。「花かつお・海苔・ふりかけ類」では、かつおパックやふりかけ類が消費者の米飯回帰・肉食回帰の動きを捉え、当製品群の売上高は同3.0%増加しました。「ギフトセット・その他食品」では、テレビCMを投下した「パパッとライス」の販売が好調で、当製品群の売上高は同1.7%増加しました。「業務用食品」では、外食産業などの低迷により、当製品群の売上高は同6.1%減少しました。「ペットフード・バイオ他」では、価格競争が激化した輸入ペットフードの販売が低調に推移し、当製品群の売上高は同6.4%減少しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の内容

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より12億70百万円増加して、445億17百万円となりました。これは、主に現金及び預金が4億62百万円減少したことやたな卸資産が16億58百万円減少したものの、売掛債権が32億58百万円増加したこと等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より11億63百万円減少して、219億34百万円となりました。これは、主に販売促進引当金が15億53百万円増加したものの、買掛債務が12億94百万円減少したことや短期借入金が12億94百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より24億34百万円増加して、225億82百万円となりました。これは、主に利益剰余金が18億78百万円増加したことやその他有価証券評価差額金が5億52百万円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の46.6%から50.7%になりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ4億62百万円減少し、8億13百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の営業活動により増加した資金は14億52百万円となりました。これは、主に売上債権の増加や仕入債務が減少したものの、税金等調整前四半期純利益の増加やたな卸資産が減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の投資活動により減少した資金は1億96百万円となりました。これは、主に投資有価証券の売却により資金が増加したものの、有形固定資産の取得により資金が減少したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の財務活動により減少した資金は17億18百万円となりました。これは、主に長短借入金の返済によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の連結業績は順調に推移しました。しかし、第4四半期での経営環境は不透明感が一層強まると懸念されるため、平成22年3月期の通期連結業績予想は平成21年11月4日の発表から変更していません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

③ 販売奨励金の算定方法

当社の未払い販売奨励金の一部は、販売数量を基礎とした合理的な方法により算定し、販売促進引当金として計上しています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	813,603	1,275,993
受取手形及び売掛金	17,207,257	13,948,575
商品及び製品	4,788,116	5,927,940
仕掛品	177,808	236,620
原材料及び貯蔵品	2,780,150	3,240,054
その他	1,602,558	1,991,163
貸倒引当金	△27,770	△21,576
流動資産合計	27,341,724	26,598,771
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,889,763	4,937,784
その他(純額)	5,467,988	5,509,737
有形固定資産合計	10,357,751	10,447,522
無形固定資産	314,266	348,981
投資その他の資産		
投資有価証券	6,168,640	5,495,159
その他	361,676	374,494
貸倒引当金	△27,048	△18,670
投資その他の資産合計	6,503,269	5,850,983
固定資産合計	17,175,287	16,647,487
資産合計	44,517,011	43,246,259
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,124,643	13,418,906
短期借入金	386,680	1,681,660
未払金	3,071,558	3,743,677
未払法人税等	859,445	505,406
売上割戻引当金	157,013	61,543
販売促進引当金	1,610,488	57,365
賞与引当金	214,296	412,484
その他の引当金	—	37,500
その他	951,588	521,968
流動負債合計	19,375,713	20,440,513
固定負債		
長期借入金	—	86,680
退職給付引当金	471,131	389,097
役員退職慰労引当金	527,889	505,496
負ののれん	125,904	503,618
その他	1,433,816	1,172,663
固定負債合計	2,558,741	2,657,555
負債合計	21,934,455	23,098,069

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,512	942,512
利益剰余金	18,551,950	16,673,757
自己株式	△125,549	△123,872
株主資本合計	20,810,582	18,934,067
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,230,466	1,678,357
繰延ヘッジ損益	△15,261	34,816
為替換算調整勘定	△443,231	△499,051
評価・換算差額等合計	1,771,973	1,214,122
純資産合計	22,582,556	20,148,190
負債純資産合計	44,517,011	43,246,259

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	63,170,225	63,415,808
売上原価	43,615,811	39,875,610
売上総利益	19,554,413	23,540,197
販売費及び一般管理費	19,154,623	21,021,667
営業利益	399,790	2,518,530
営業外収益		
受取利息	648	571
受取配当金	161,406	149,141
負ののれん償却額	377,713	377,713
持分法による投資利益	49,587	119,703
受取手数料	265,743	303,308
その他	209,584	145,477
営業外収益合計	1,064,683	1,095,916
営業外費用		
支払利息	18,269	10,062
売上債権売却損	—	11,150
賃貸収入原価	—	18,033
その他	116,001	10,942
営業外費用合計	134,270	50,189
経常利益	1,330,203	3,564,256
特別利益		
貸倒引当金戻入額	68	—
固定資産売却益	2,613	834
投資有価証券売却益	72	—
受取補償金	7,212	—
補助金収入	11,503	6,844
特別利益合計	21,469	7,678
特別損失		
貸倒引当金繰入額	1,896	3,355
固定資産除却損	46,789	15,216
固定資産売却損	2,654	22,333
投資有価証券売却損	24	155,802
投資有価証券評価損	—	2,441
ゴルフ会員権評価損	2,020	—
製品回収関連費用	96,669	—
特別損失合計	150,054	199,150
税金等調整前四半期純利益	1,201,618	3,372,785
法人税等	444,520	1,186,719
四半期純利益	757,098	2,186,065

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,201,618	3,372,785
減価償却費	598,596	630,541
負ののれん償却額	△377,713	△377,713
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,587	14,571
その他の引当金の増減額 (△は減少)	1,310,995	1,517,331
受取利息及び受取配当金	△162,055	△149,713
支払利息	18,269	10,062
為替差損益 (△は益)	2,803	101
持分法による投資損益 (△は益)	△49,587	△119,703
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,275,093	△3,258,682
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,491,376	1,523,472
仕入債務の増減額 (△は減少)	△338,241	△1,294,263
未払金の増減額 (△は減少)	△736,699	△734,944
その他	639,362	1,056,196
小計	329,218	2,190,040
利息及び配当金の受取額	160,335	148,671
利息の支払額	△17,848	△7,109
法人税等の支払額	△214,878	△879,122
営業活動によるキャッシュ・フロー	256,827	1,452,480
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△321,184	△419,685
投資有価証券の取得による支出	△17,659	△17,616
投資有価証券の売却による収入	—	261,933
貸付けによる支出	△850	△4,500
貸付金の回収による収入	6,459	11,382
その他	△63,055	△27,752
投資活動によるキャッシュ・フロー	△396,290	△196,238
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	450,000	△1,000,000
長期借入金の返済による支出	△381,660	△381,660
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△27,345
自己株式の処分による収入	557	—
自己株式の取得による支出	△3,263	△1,676
配当金の支払額	△307,916	△307,872
財務活動によるキャッシュ・フロー	△242,282	△1,718,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,457	△77
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△384,203	△462,390
現金及び現金同等物の期首残高	1,547,162	1,275,993
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,162,958	813,603

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成22年3月期 第3四半期決算短信(連結) 補足説明

1. 売上高・利益の増減要因等

(単位：百万円, %)

	前年同期 (累計)	当第3四半期 (累計)	前年同期比		前年同期比増減要因等
			金額	率	
売上高	100.0 63,170	100.0 63,415	245	100.4	販売函数 +3.0% 製品群別売上高 ・ツナ +1.2% +342百万円 ・デザート +6.2 +239 ・総菜 +4.6 +203 ・花かつお・海苔・ふりかけ類 +3.0 +162 ・業務用食品 △6.1 △504 ・ペットフード・バイオ他 △6.4 △133
売上原価	69.0 43,615	62.9 39,875	△3,740	91.4	・売上原価率：原材料価格の低下により △6.1ポイント
売上総利益	31.0 19,554	37.1 23,540	3,985	120.4	
販売費及び一般管理費	30.4 19,154	33.1 21,021	1,867	109.7	・販売奨励金 +11.4% +1,315百万円 ・広告宣伝費 +53.3 +535 ・一般管理費 +0.5 +23
営業利益	0.6 399	4.0 2,518	2,118	630.0	
営業外損益	1.5 930	1.6 1,045	115	112.4	(収益) 持分法による投資利益 +141.4% +70百万円 受取手数料 +14.1 +37 受取配当金 △7.6 △12 (費用) 前期に原材料処分損 23百万円計上
経常利益	2.1 1,330	5.6 3,564	2,234	267.9	
特別損益	△0.2 -128	△0.3 -191	△62	148.9	(損失) 投資有価証券売却損 155百万円計上 前期に製品回収関連費用 96百万円計上
税金等調整前四半期純利益	1.9 1,201	5.3 3,372	2,171	280.7	
法人税等	0.7 444	1.9 1,186	742	267.0	
四半期純利益	1.2 757	3.4 2,186	1,428	288.7	

設備投資額	290	573	283	197.6	無形固定資産含む
減価償却費	598	630	31	105.3	無形固定資産分含む

《ご参考》

(単位：円/kg, %)

きはだ鮪 価格	615.7	573.8	△41.9	93.2	出所：農林水産省「産地水産物流通統計」 各冷凍品の4～12月平均価格 (当社で月次価格を水揚量により加重平均した)
かつお 価格	206.2	138.1	△68.1	67.0	

2. 販売費及び一般管理費の内訳

(百万円、%)

	前年同期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減額	前年同期比
販売奨励金 (引当金繰入額含む)	11,583	12,899	1,315	111.4
広告宣伝費	1,005	1,541	535	153.3
荷造運賃	1,740	1,713	△ 26	98.5
保管料	502	521	19	103.8
役員報酬	255	257	2	100.9
給料及び手当	1,365	1,353	△ 12	99.1
賞与引当金繰入額	116	120	4	103.2
退職給付費用	126	162	36	128.5
旅費及び交通費	244	227	△ 17	92.8
減価償却費	170	225	55	132.3
賃借料	376	353	△ 23	93.7
研究開発費	177	155	△ 21	87.6
その他	1,489	1,491	1	100.1
合計	19,154	21,021	1,867	109.7